

実務経験を有する教員の授業

教育学部

学科	区分	授業科目名	単位数	担当教員名	概要
教育学科	全学共通科目	基礎演習	2	内山 淳一	博物館勤務の経験を活かし、美術作品をわかりやすく解説する方法について解説する。また、現場課題となっている著作権の問題や研究倫理についても指導する科目である。
		総合コースE(宗教と社会)	4	新免 貢	牧師としての実務経験を活かし、教養と精神の自由を否定する極端な聖書解釈やクルアーン解釈の危険性を訴え、暴力発生のプロセスと暴力を抑止する方法を考察する機会を供する科目である。
	学部共通科目	キリスト教学	2	栗原 健	ニューヨークの日米合同教会で牧会助手として勤めていた経験を、キリスト教思想の本質とその社会との関わりについて基礎的な教養を提供する基盤として活用して指導する科目である。
		教養講義B(健康)	2	正木 恭介	栄養学的基礎知識を学び、健康増進や疾病予防について理解する科目である。また、健康被害について製薬企業における食品開発の実務経験を活かし、具体的な事例を挙げ、ディスカッションやグループワークを交えて指導する。
		特殊研究(宗教学)	2	新免 貢	牧師としての実務経験が本講義の基盤となっている。本授業では古代社会において機能していた犠牲のシステムと共同体維持の論理等をディスカッションを交えながら学習する科目である。
		教育と共生社会	2	熊坂 聡	児童施設の主任指導員や施設長、障害者施設や特別養護老人ホームなどの施設長という実務経験を活かし、差別や偏見の対象になってきた福祉対象者の具体例を引用し、共生社会を考える授業を展開する科目である。
		教育と「学び」	1	竹田 幸正	国公立小学校教員の実務経験を生かし、小学校の目的や小学校教員の役割、小学生の発達特性、小学校教育の現状と課題について、具体的な資料を基に授業を進める科目である。
		教育と現代社会	1	大内 典	音楽教諭としての実務経験を踏まえ、さまざまな現代的課題を抱える地域社会の中で教育者が担う役割について、地域文化の継承を中心に考える授業内容を展開させながら、履修者の理解を深める指導をする科目である。
		社会福祉概論Ⅰ	2	熊坂 聡	児童施設の主任指導員や施設長、障害者施設や特別養護老人ホームなどの施設長という実務で知識と技術を具体例として学生に示し、プレゼンテーションや討論を入れて社会福祉の基礎を学び、社会の福祉問題を具体的に考える科目である。
		国語	2	豊澤 弘伸	国語科教員としての授業実践経験や出版社での教科書編集・執筆の経験を、教科書解説や教材分析、さらには素材としての日本語の解説に生かした指導をする科目である。
キャリアデザイン	1	天童 睦子	社会で活躍する女性をゲストに迎えたセミナーなどを通して、多様なロールモデルを提示し、学生の学習意欲を喚起することで自らの将来像を主体的に創造する力を養うことが企図された科目である。		

学科合計

21 単位